



# かぶっとこ通信

この「かぶっとこ通信」では、各校の自転車通学時のヘルメット着用推進に係る取組事例やトピックとなる情報を紹介していきます。

今回は、須崎総合高等学校で開催された自転車ヘルメット着用推進シンポジウムについて紹介します。

高知県内では近年、交通事故により高校生の尊い命が失われる事例が相次ぎました。これを契機として平成31年4月1日に、「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行され、保護者の努力義務として、児童生徒に自転車のヘルメットを着用させることが規定されました。

このたび、高知県内の様々な地域から代表生徒が須崎総合高等学校に集まり、各校の現状を踏まえて課題を共有し、ヘルメット着用の重要性について、共通理解を図りました。

まず、東北工業大学の小川和久先生から専門的知見からの講演をいただきました。その後、8校の代表生徒によるディスカッションを行い、高校生から様々な意見が出されました。最後には、各学校生徒による、「ヘルメット着用推進宣言」を行いました。



高校生の率直な意見を通して、自転車ヘルメット着用推進に向けて、真剣に議論する機会となりました。着用を推進するためには、「ファッション性を高めたヘルメットの開発」「着用することで特典がもらえる仕組みづくり」「実用性を知ったり楽しく着用できる環境を作っていく」「ヘルメットを着用することの大切さを伝える場をつくる」など、様々な意見が出されました。

命を守ることができる自転車ヘルメット着用の重要性を、高校生自ら発信することができたシンポジウムとなりました。